

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-88	高等学校	地理歴史科	地図	1～3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図－309	標準高等地図－地図でよむ現代社会－		

1. 編修の趣旨及び留意点

○ “物事の本質をつかみ、その解決のために公共を意識して行動できる自立した市民”を育成するために

現在の社会はグローバル化・情報化・少子高齢化など、様々な変化が急速に進んでおり、高校生が身につけるべき知識や教養も変化している。私たちは、高校生が日本の伝統をしっかりと継承できるように配慮しつつ、社会の変化をしっかりと踏まえた学習が可能になるよう意を注いだ。

その上で私たちは今回の教科書の編修にあたって、これからの社会を生きていく高校生に対し、“物事の本質をつかみ、その解決のために公共を意識し行動できる自立した市民”になってほしいと考えた。社会に対する安心感を抱きながら平和な生活を持続していくためには、現代社会におけるさまざまな課題を理解すること、さらにその課題を解決して、新しい社会に合わせたしくみやモデルをつくるために行動できる能力が必要である。その“行動力”を育成することができるよう、以下の編修趣旨を設けた。

① 現代世界の地理的諸条件や現状について端的に捉えることができる地図帳

- ・A4判の大判サイズの地図で、全世界をカバーするとともに、特別に配合した明るく鮮やかなインキを用いた等高段彩表現の見やすい地図帳を追究した。
- ・世界で特に注目を集める地域や情勢変化の激しい地域の地図を充実させた。
- ・日本の領土・領域に関する地図、資料を充実させた。

② 現代世界の諸課題について理解し、考える力が身につく地図帳

- ・12のテーマで捉えた資料図を用意。現代世界のかかえる諸課題について理解し、一連の資料を通してより考えを深めていけるようにした。
- ・巻頭に「現代社会を読み解く基礎データ」を設け、さらに巻末の「おもな国の概要」、「統計資料」を充実させることで、各国が抱える問題や、諸課題の背景に対する理解が深まるようにした。

③ 生徒にとって使いやすく、理解しやすい地図帳

- ・地図中の重要な地名については、ワンポイント解説を付し、学習の一助となるようにした。
- ・テーマ資料図のページの構造化を図り、それぞれの内容を理解しやすいよう配慮した。

2. 編修の基本方針（教育基本法第2条への対応）

第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

→ 「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う」ことについて、本書では、世界・日本への空間認識を拡大し、かつ地形や気候などの自然環境および民族や宗教、産業などの社会環境について捉え、世界・日本の諸地域への理解を深めていくことが重要と捉えた。

- ① 世界・日本の諸地域への空間認識の拡大に資するよう、大判かつ美しい地図で、全世界および日本の各地域をカバーした。

- ・世界・日本とも、標高毎に配色する等高段彩で表現。特別に配合したインキを用い、より見やすく、より美しく表現した。
- ② 世界・日本の自然環境，社会環境が理解できるよう，豊富に資料を掲載した。
 - ・日本を含め，世界の地形や気候のようすや，民族や宗教の分布などが理解できる資料図を豊富に用意。また，巻末には関連する統計資料を充実させた。

第2号 個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うこと。

→ 「個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培う」ことについて，本書では，どのような生徒でも等しく地図帳を使いこなしながら，その学びを通して，学力や創造力などを成長させていけることが重要と捉えた。

- ① 誰にとっても，見やすく，わかりやすい地図帳を目指した。
 - ・色覚に特性を持つ生徒でも，色を判別して地図や資料が読み取れるように，カラーユニバーサルデザインにも配慮し，色彩表現を工夫した。
 - 例：赤文字で記された地図中の都道府県名・国名について，黒色で縁取りしている。
 - テーマ資料図は，より見やすい配色とした。

→ 「職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養う」ことについて，本書では，この世界にくらす人々の生活のようすや，農林水産業など社会を支える産業への理解を深め，生徒自身の勤労に対するイメージや意欲を高めることが重要と捉えた。

- ① 自然環境と生活との関わりが地図帳から捉えられるよう，地域のくらしや産業が見える工夫をした。
 - ・地形・集落に関する資料図（p.103-106）では，写真と着色した地形図を併用することで，地形など自然環境を活かした土地利用がなされ，そこに農業などの産業が成り立っていることが理解できるようにした。

第3号 正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。

→ 「公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う」ことについて，本書では，この世界・日本の現状や諸課題に目を向け，生徒自身が地球の一員として考えていくことが重要と捉えた。

- ① 生徒自身が，世界の現状や諸課題について学ぶ中で，社会の形成に参画するという意識を育むことができるよう配慮した。
 - ・テーマ資料図のページ（p.111-134）に設けた“ねらい”や“ナビ”，“解説”を通して，生徒自らが世界の諸課題について考えられるように配慮した。
 - ・世界の諸課題に関しては，単に課題を取り上げるだけでなく，課題への前向きな取り組みや，対策についても提示し，生徒自身を含め，人々の努力，行動によって解決，改善していけることを示した。
 - ・テーマ資料図のページには“日本に注目！”のコーナーを設け，世界の諸課題がそれぞれ日本にも関係していることを理解できるようにした。

第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

→「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う」ことについて、本書では、地球の自然環境や環境問題を理解し、生命や自然環境の保全に寄与する態度を養うことが重要と捉えた。

- ① かけがえのない自然環境の保全や、環境問題に対する関心を高められるよう、環境に関する様々な資料を掲載した。
 - ・地球の環境に関するテーマ資料図のページ (p.111-114) を設け、環境問題や資源・エネルギーに関する現状、環境問題に対する取り組み、次世代エネルギーに関する資料を取り上げた。
 - ・世界・日本の地図中に「おもな世界自然遺産」、「おもなラムサール条約登録湿地」などを記載し、環境への関心を高められるようにした。

第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

→「我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」ことについて、本書では、郷土を愛したり、他国やそこに住む人々を尊重したりするためには、正しく幅広い国土理解と、世界の諸地域への理解が重要と捉えた。

- ① 正しい国土理解、世界の諸地域への理解に資する地図帳となるよう、地図で全世界をカバーした。また、基礎・基本となる資料を掲載し、わかりやすく表現した。
 - ・ p.133-134 「日本の領土と主権」、p.159 「日本の位置とまわりの国々」を掲載し、日本の領土領域について正しく学べるように配慮した。
 - ・ 国の成立背景や信条などが見えてくる“国旗”を、巻頭の「世界の国々」のページおよび、巻末の資料ページ「おもな国の国旗と概要」に掲載。「おもな国の国旗と概要」では、各国旗の由来についても解説した。
- ② 正しい異文化理解と日本文化への理解が図れるよう、宗教や民族に関する主題図を設け、わかりやすく表現した。
 - ・ p.123-124 「世界の宗教」、p.125-126 「世界のさまざまな民族」を掲載し、文化の背景となる宗教と民族について正しく学べるように配慮した。日本人の生活や年中行事には、宗教が深く関わっていることを理解できるようにした。

3. 対照表

本書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
◎全体を通して	<ul style="list-style-type: none">・日本・世界の自然や歴史、環境など、様々な情報を地図上に幅広く取り上げ、空間認識をともなった知識や教養が身につくように配慮した。(第1号)・色覚特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいよう、全編にわたって色彩表現に配慮。国や県毎に塗り分ける色や、グラフ等の色にも配慮し、混同しにくい配色とした。(第2号)	本書全体 本書全体
①世界の国々・現代社会を読み解くデータ (p.1-5)	<ul style="list-style-type: none">・すべての国の国旗を掲載し、国旗への関心が高められるようにした。(第5号)・各国の人口規模や、経済状況が端的にわかる基礎資料を巻頭に配置。ページを引き出しながら後段のテーマ資料図と関連づけて見ることで、世界の現状や諸課題について、より理解を深められるように配慮した。(第1号)	p.1-3 p.4-5

<p>②世界と日本の基本図・拡大図・都市図 (p.7-100)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図は鮮やかな等高段彩で表現。大縮尺の基本図と、より地域を詳細にとらえることができる拡大図で世界および日本の各地域をカバーした。また、空間認識の拡大に資するようにした。(第1号) ・地図中の重要な地名については、ワンポイント解説を付し、よりその地域への理解が深まるようにした。(第1号) ・色覚特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいよう、地図ページ中の国名と都道府県名の赤文字には、黒色で縁取りをした。また、都市図の土地利用表現においては、一部の色に地紋を入れ、似た色の識別がしやすくなるように配慮した。(第2号) ・「おもな世界自然遺産」、「おもなラムサール条約登録湿地」を掲載し、環境への関心が高められるようにした。日本に関してはすべての登録地を掲載するとともに、おもなナショナルトラスト運動が行われた場所も示した。(第4号) ・「おもな世界文化遺産」を掲載し、世界や日本の歴史ある文化への関心が高められるようにした。(第5号) ・世界の地図においては、随所に同縮尺・同緯度の日本図を掲載し、日本との位置関係や大きさを比べながら世界を学べるよう配慮した。(第5号) 	<p>p.7-100</p> <p>p.7-100</p> <p>p.7-100</p> <p>p.7-100</p> <p>p.7-100</p> <p>p.7-70</p>
<p>③基礎資料図(地形・気候・集落)・世界・日本の諸課題に関するテーマ資料図 (p.101-134)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界がかかえる諸問題について、12のテーマを取り上げ、地図や図表を主体に提示。紙面の構造化などの工夫を行い、高校生がそれらについて理解や考えを深めやすいようにした。(第1号) ・各見開きや項目には、“ねらい”や、“ナビ”、“解説”などを適宜設け、生徒自身が地図や資料を読み取る力を伸ばせるように配慮した。(第2号) ・環境問題やエネルギー問題に関わるテーマを設定。それらの現状と課題、対策などについてわかりやすく取り上げた。(第4号) ・宗教や民族のテーマを設け、異文化理解につながる世界や日本の文化的背景を大観できる資料を掲載した。(第5号) ・日本の領土に関するテーマを設定。地図と資料から、日本固有の領土に関する理解を深められるよう配慮した。(第5号) 	<p>p.111-134</p> <p>p.111-134</p> <p>p.111-114</p> <p>p.123-126</p> <p>p.133-134</p>
<p>④統計資料・さくいん (p.135-157)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界・日本とも統計資料を充実させることで、統計データから世界・日本のすがた、位置づけを理解できるようにした。(第1号) ・世界のおもな国の概要と国旗の持つ意味について解説し、国際理解をより深められるようにした。(第5号) 	<p>p.135-146</p> <p>p.135-142</p>
<p>⑤日本の位置とまわりの国々・都道府県 (p.158-160)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土・領域、排他的経済水域等を端的につかめるよう、焦点化した地図を掲載。東西南北端の島について、拡大した地図でわかりやすく示した。(第5号) 	<p>p.159</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ 長期間の使用に耐えうる造本

- ・高校卒業後の使用も視野に入れ、長期の使用に耐えられるよう、ノド部分を糸かがりした上で糊付けし、丈夫に製本した。

○ 環境問題・資源問題にも配慮し、「再生紙」と「植物油インキ」を使用

- ・環境問題、資源問題について学習する生徒が使用する教材であることに配慮して、全頁にわたって再生紙と植物油インキを使用した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-88	高等学校	地理歴史科	地図	1～3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図-309	標準高等地図-地図でよむ現代社会-		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

■大判の地図と、テーマ別資料図によって、現代世界への理解を深められる地図帳

現代世界で起こる社会的事象を地図帳で確認することを通して、世界や日本の“今”のすがたを認識し、国際感覚が身につけられるよう、以下のような特色をそなえた地図帳を編修した。

特色 1 A4判のワイドな判型を採用し、より見やすく編修した地図帳

特色 2 現代世界で注目を集める地域の図取りや都市図をさらに充実させた地図帳

特色 3 テーマ資料図から現代世界の諸課題を大きく捉えることができる地図帳

特色 4 世界の国々の資料を充実させるなど、より使いやすく配慮した地図帳

特色 1

A4判のワイドな判型を採用し、
より見やすく編修した地図帳

①A4判の大判サイズの見やすい地図で世界全域をカバー

- ・A4判の大判サイズを活かした大きく見やすい地図で、世界の全地域をカバーした。
- ・世界、日本とも、標高ごとに配色する等高段彩表現で統一した。鮮やかな緑色、明るい茶色など特別に配合したインキを用い、より見やすい配色を心がけた。

②地図が見やすくなるよう、地名を精選して掲載

- ・地名は過度に盛り込みすぎないように精選し、また、できるだけ大きな文字を使い、地図が見やすくなるよう配慮した。

③カラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすさを追究

- ・色覚に特性を持つ生徒でも、色の違いを判別して地図や資料が読みとれるよう、色彩表現を工夫した。
- ・地図ページでは、赤色の国名・都道府県名に黒色の縁取りを入れたり、道路に黒色の二条線を入れたりするなど、判読しやすい地図表現を追究した。

特色 2

現代世界で注目を集める地域の図取りや都市図を
さらに充実させた地図帳

①中東や東欧など、情勢の変化が激しく、世界の注目が集まる地域の新図を用意

- ・内戦の激化や、ISIL(「イスラム国」)の台頭で注目が集まるシリアやイラクから、イスラームの聖地であるメッカまでが大きくながめられる地図を新たに掲載した。→p.27-28「中東要部」
- ・クリム半島のロシア編入問題などで注目されているウクライナを中心に、東欧からロシア西部、カフカス諸国

まで一望できる地図を新たに掲載。→p.45-46「ヨーロッパ東部・ロシア要部」

②情報量が多いヨーロッパやアメリカを中心に、拡大図をさらに充実

- ・ p.37-38「EU 要部」, p.57-58「アメリカ合衆国西部」などの拡大図を新たに設け、これらの地域の情報をより読み取りやすくした。

③日本の領土に対する理解を深める地図および資料を充実

- ・ p.159「日本の位置とまわりの国々」を設け、日本の東西南北端や、排他的経済水域、近隣諸国との位置関係などが端的にとらえられるようにし、正しい国土理解が図れるようにした。
- ・ テーマ資料図として p.133-134「日本の領土と主権」を設け、地図と資料から、日本固有の領土の歴史や現状についての理解をより深められるように配慮した。

④世界、日本とも都市図を充実

- ・ 都市の様子をつかめる都市図を充実させた。世界 20 都市、日本 13 都市の都市図を掲載。

特色 3

テーマ資料図から現代世界の諸課題を大きく捉えることができる地図帳

①現代世界がかかえる諸課題について、12のテーマで捉えた資料図

- ・ 環境、経済、社会、国際、日本の5つの分野から、今日的で重要な下記の12のテーマを取り上げ、1見開き1テーマの構成で、地図や図表を主体にしながらわかりやすく提示した。

環 境	○環境問題への取り組み	○世界の資源・エネルギー問題		
経 済	○世界経済の現状	○世界のおもな地域経済統合		
社 会	○世界の人口問題	○世界の食料問題	○世界の宗教	○世界のさまざまな民族
国 際	○今なお続く地域紛争	○世界の軍事情勢と軍縮への取り組み		
日 本	○日本がかかえる人口問題	○日本の領土と主権		

②テーマ資料図を見る際に活用できる「現代社会を読み解く基礎データ」を巻頭に設置

- ・ 各テーマ資料図を見る際の一つの指標となる各国の豊かさや人口規模を示した資料図を巻頭の折り込みページに配置。折り込みページを引き出し、各資料図ページと比較して見ることにより、それぞれのテーマをより深く理解できるように配慮した。

③理解しやすいようページ構成を工夫

- ・ 1見開きの構成を統一。見開きテーマの中心となる主題図を大きく配し、その周囲に、補足資料や、そのテーマに関する日本の関わりを示した“日本に注目！”，トピックス的な内容や対策を取り上げた資料を配した。
- ・ 見開きごとにテーマ全体の意図を示した“ねらい”，各図・資料を読み解くための指針を示した“ナビ”，用語を掘り下げる“キーワード”，諸事象についてわかりやすく解説した“解説”を設置し、現代世界の諸課題や、その現状について順序立てて考えられるようにした。

特色 4

世界の国々の資料を充実させるなど、より使いやすく配慮した地図帳

①巻末の統計資料は多色刷りとし、かつ内容を充実させた

- ・ 世界の主要な国を取り上げ、それぞれの国とその国旗についての概要を掲載し、国際理解をより深められるように配慮した。
- ・ 統計資料では、世界 197 か国すべての国の正式名称、主要な統計、情報を見開きで掲載するとともに、「現代

社会を考える統計」(p.143-144)を掲載し、平均寿命や、合計特殊出生率、貧困率、対外債務額など、現代世界の諸課題に関わるテーマの統計を設けた。

②地図ページには主な地名に関する“ワンポイント解説”を掲載

- ・おもな基本図や拡大図において、それぞれの地域をとらえるうえで重要な地名を選択して解説し、学習の一助となるようにした。
- ・選択した地名は、“政経”、“環境”、“社会”、“地理”、“歴史”の5つのカテゴリーに分類し、地理歴史科、公民科にまたがって活用できるように配慮した。

③見やすく充実させたさくいん

- ・世界、日本ともワンポイント解説で取り上げている地名に関しては、さくいん中に★を付して掲載し、重要な地名を探しやすくした。
- ・世界のさくいんでは、国名、首都名のほかに、“鉱山”、“世界遺産”などに記号をつけたり、日本のさくいんでは、都道府県名と都道府県庁所在地名の表記を変えたりするなど、単に場所の確認だけでなく、地名の種類がわかるように配慮した。

2. 対照表

本書の構成・内容	構成・内容の特色	学習指導要領の内容
世界の国々 (p.1-3)	<p>【世界史 B】…日常生活で用いられる世界の地図や国旗から、世界の歴史が捉えられることを理解する。</p> <p>【地理 B】…世界の大陸や海の分布、我が国の国土や国々の位置関係、自然環境、諸地域の様子を大きく捉える。現代世界を地域機構による結びつきで捉えることの有効性を理解する。</p>	(1)ウ (2)アウ (3)アイウ
世界の基本図・拡大図・都市図 (p.7-70)	<p>【世界史 B】…世界の多様な地域の形成、交流と再編、結合の歴史を、地理的条件と関連づけながら理解する。</p> <p>【日本史 B】…中世国家と社会や文化の特色、日本と東アジアの関わりについて、国際環境と関連づけて考察する。</p> <p>【地理 B】…現代世界の地理的事象の空間的な規則性を理解し、多様な諸地域を地誌的に考察する。</p>	(1)アイウ(2)アイウエ(3)アイウエ (4)アイウエオ (5)アイウエオ (2)イウ (1)アイ(2)アイウエ(3)アイウ
日本の基本図・拡大図・都市圏図・都市図 (p.71-100)	<p>【日本史 B】…我が国の歴史を、史跡・歴史的に重要な地名、古戦場跡などの特殊凡例から理解するとともに、歴史の展開を地理的条件と関連づけて総合的に考察する。</p> <p>【地理 B】…自然環境や資源、産業、人口、都市・村落などに着目して国土の特色を考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探求する。</p>	(1)アイウ(2)イウ (3)イウ(4)イウ (5)イウ(6)アイ (1)アイ (3)ウ
世界の地形 (p.101-102)	<p>【世界史 B】…自然環境と人類の関わりについて考察する。</p> <p>【地理 B】…世界の地形の分布や人間生活との関わりなどについて考察する。</p>	(1)ア (2)ア(3)イ
世界の資料図 (p.103-130)	<p>【世界史 B】…地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題など、現代のグローバル化した世界の課題を理解する。</p> <p>【地理 B】…世界の自然環境、資源、産業、人口、都市・村落、生活文化、民族・宗教などに関する諸事象を系統地理的に考察し、現代世界の諸課題を地球的視野から理解する。</p>	(1)アウ(5)エオ (1)アイ (2)アイウエ (3)アイウ

日本の資料図 (p.131-134)	<p>【世界史 B】…地理と歴史への関心を高め、日本の歴史と世界の歴史のつながりや世界史学習における地理的視点の重要性に気づく。</p> <p>【地理 B】…自然環境や、人口、都市・村落などに着目して国土の特色を考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探求する。</p>	(1)イ (1)アイ (3)ウ
統計資料 (p.135-146)	<p>【世界史 B】…地球世界の課題について、歴史的観点から探求する際に活用する。</p> <p>【地理 B】…地理的事象の基礎データを活用して、現代世界を系統地理的・地誌的に考察する。</p>	(5)オ (1)イ(2)アイウエ (3)アイウ
地図投影法 (p.147)	<p>【世界史 B】…地理と歴史への関心を高め、世界史学習における地理的視点の重要性に気づく。</p> <p>【地理 B】…投影法による違いや、地図の目的や用途に応じた投影法を知り、地図の有用性に気づく。</p>	(1)ア (1)アイ (2)ア
地図にみる世界、デジタル地図、地球の歴史 (p.148)	<p>【世界史 B】…地図にみる世界の歴史の変遷や地球の歴史から、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義を知る。</p> <p>【地理 B】…さまざまな時代や種類の世界地図の読図、地図情報の地図化などを通し、各時代の人々の世界観を捉えるとともに、地図の有用性に気づく。</p>	(1)ア (1)アイ (2)ア
日本の位置とまわりの国々 (p.159)	<p>【日本史 B】…現代の日本を構成する領土について正しく理解する。</p> <p>【地理 B】…我が国の国土の位置や領域、海流などの自然環境について、正しく理解する。</p>	(6)ア (2)ア (3)ウ